

4月より羽島郡二町教育委員会に野原 弘康教育長が就任しました。
新型コロナウイルス感染症の影響による3か月間の休校期間が明け、
学校生活が再開されたことを受け、日ごろより児童生徒を温かく見守っ
てくださっている保護者の方や地域の皆さんへ向けて、野原教育長の
メッセージをお届けします。



何気ないひと言の力

羽島郡二町教育委員会 教育長 野原 弘康

本年4月1日、羽島郡二町教育委員会教育長の
拝命を受けました野原でございます。

歴代の諸先輩が尽力され、築いてくださった
羽島郡二町全体の教育行政に携わらせていた
だくことになりましたが、学校教育や社会教育を
通して、子どもたちや町民の皆さまへの貢献を
考えたときに、その責任の重さを痛切に感じてお
ります。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策か
ら始まり、保護者や町民の皆さま方に様々なと
ころでご理解とご協力を賜っております。改めて感
謝申し上げます。

早く終息に向かうことを願っておりますが、今
後も危機管理意識をもって対応してまいります。
微力ではございますが、誠意をもって努める所存
でございますので、どうぞよろしく願いいたします。

私は以前、次のような話を聞いた時に思った
ことがあります。

ファミリーレストランで働くパートのベテラ
ン職員が、アルバイトの女性に「いつも、丁寧
ね!」と声をかけた。女性は、その一言でやる気
になった。

建築現場で棟梁が、若い大工に「うまくなっ
たなあ。」と声をかけた。若い大工は、その一
言が自信になった。

声をかけられて嬉しいのは、ちゃんと見てく
れているって気付くからだと思う。そばにいる
あなたのひと言だから力になる。

こうした声をかけられると、嬉しくなり、力が湧
いてくる経験を、誰もがもっていると思いました。
だからこそ、互いに声をかけ合い、気持ちよく生
活できることを願っています。

6月から学校が再開され、保護者や地域の見
守隊の方に守られ、児童生徒は安心・安全に登
校できております。とてもありがたいことです。

ある見守隊の方は、
児童生徒と出会い、
「おはようございま
す。」「いよいよ始ま
るね。頑張れよ。」「
気持ちいい挨拶
だね。」「元気があっていいね。」「素敵な笑顔
だね。」などと声をかけてくださっています。



こうした挨拶プラスワンの何気ないひと言が、
何かの形で児童生徒の勇気や意欲につながる
と感じています。

例年、地域では様々な活動が行われています。
(現在は、新型コロナウイルス感染症の関係で
延期されている行事が多くありますが、早く終息
し、実施できることを願っています。)そうした活
動に児童生徒も参加し、幅広い年代の方々と関
わる機会があります。活動を通して得られたつな
がりや、「期待の声」「励ましの声」「頑張りを認
める声」「感謝の声」「助言の声」など、日常の
声に結んでいただけたら幸いに存じます。

笠松町民憲章には、「お互いが助け合う心を
養い 幸せを求めましょう。」とあります。

児童生徒は、地域の方々のそうした温かさ
を感じることで、将来の笠松町を支え、発展に寄与
する人に育っていくものと期待しています。